

### Ⅲ. 分担研究報告 1

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業  
令和 6 年度 分担研究報告書

#### 健診及び結果説明、形態学的評価

研究分担者 齋藤 貴徳 関西医科大学整形外科学講座 教授

#### 研究要旨

令和 6 年度の健診について報告する。当施設は本年度からサリドマイド胎芽症を対象とする人間ドック健診を開始した。令和 6 年 4 月から健診実施に向けた準備を開始し、年度後半から受診希望者を受け入れた。受診者数は 6 名で、男性 3 名、女性 3 名、平均年齢 62.5 才であった。

#### 研究結果

1. 上部消化管内視鏡検査を全員に実施した。検査に伴う合併症は認めなかった。胃がんをはじめとする悪性腫瘍は認めなかった。1 名に胃ポリープ、4 名にびらん性胃炎と食道裂肛ヘルニア、1 名にバレット食道を認めた。

2. 頭部・体幹部 CT を全例で実施した。4 名に耳介形成不全、耳小骨低形成、蝸牛・三半規管低形成、内耳低形成、中耳炎、などの外耳・内耳異常を認めた。1 名に子宮筋腫が確認され産婦人科受診を勧めた。1 名に両側鼠径ヘルニアを認め、外科受診を勧めた。

3. 頸椎・胸椎 MRI を全例で施行した。1 名に頸椎後縦靭帯骨化病変、腰椎ヘルニアを認め、整形外科受診を勧めた。1 名に頸部脊柱管内軽度狭窄、腰椎椎間板突出による神経根圧迫所見を認めた。1 名に頸椎・腰椎の軽度脊柱管狭窄を認めた。1 名に脊椎分離すべり症を認めた。いずれも重度の神経症状等は伴っていなかった。

4. 腹部超音波検査では 6 名中 5 名に脂肪肝を認めた。その他、2 名に腎のう胞、1 名に肝のう胞と腎のう胞、3 名に肝のう胞、軽度脾腫を認めた。

5. 骨密度検査は 4 名に施行し、女性 1 名で大腿骨頸部 YAM 値が 76% と標準より低値であった。

6. 生活習慣病関連の検査では、5 名で BMI が 23% 以上、うち 3 名で BMI が 25% 以上であった。男性 1 名、女性 2 名で腹囲が基準値以上であった。中性脂肪は 1 名で 150 mg/dL 以上、LDL コレステロールは 1 名で 140 mg/dL 以上であった。HDL コレステロールが 40 mg/dL 未満の者はいなかった。

1 名が糖尿病で治療を受けていたが管理目標に達していなかった。2 名が空腹時血糖 110 以上であった。

7. 整形外科的診察では、1 名に頸椎由来の軽度の四肢感覚障害を認めた。1 名に量膝関節、腰部の変形性関節症を認めた。1 名に手指形成異常を認めたが、関節症状は乏しく大きな問題はなかった。1 名に右人工股関節置換術の既往があり、左股関節痛の悪化が見られたため、整形外科での精査を勧めた。

#### 考察

例数が少ないため統計的な解析は困難であるが、サリドマイド患者では脂肪肝の頻度が高いと考えられた。脊椎の加齢性変化を含む整形外科的所見が見られる症例が多く、経過観察が必要であると考えられた。